

静岡県漁業協同組合連合会
1084 静岡市追手町 9-18
16.3.12 ☎ 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 平成15年度卒業式を挙行 第34期生14名が海の男に - 県立漁業高等学園 -

県立漁業高等学園(戸塚宏一園長)では、去る3月11日平成15年度(第34期生)卒業式を挙行し、本県漁業の将来を担う海の若人14名(航海課7名、機関課7名)を漁業の第一線に送り出しました。

式典では、卒業生全員に卒業証書と記念品が授与され、戸塚園長の式辞に続いて、来賓として戸本焼津市長、西川同学園後援会長(本会会長)より夫々祝辞があり、大石県農業水産部水産振興室長より挨拶が述べられました。引続き、富田大地君(京都府)、中根忠君(大阪府)に特別賞が授与され、卒業生を代表して富田君が、「漁業の良き後継者になるよう努力します」と答辞を述べ閉会しました。

また、先に開催された海技士臨時試験で当学園から受験した富田君が、学園の現役生で始めて、難関の三級海技士(航海)の筆記試験に見事合格した他、四級海技士6名、五級海技士4名が合格しました。

なお、卒業生は次のとおり各々県内漁船への乗船が決定しています。

近海かつお漁業：1名 遠洋かつお漁業：3名 遠洋まぐろ漁業：1名 まき網漁業：3名 さば漁業：2名 定置網漁業：3名 底引き網漁業：1名

2. 平成16年度県当初予算案発表

県では、このほど平成16年度当初予算案を発表し、水産関係は総額73億9,733万5千円(15年度当初比8%減)で、このうち一般会計が72億133万5千円、特別会計(沿岸漁業改善資金)が1億9,600万円となっています。なお、主要事業は次のとおりです。

海の幸の持続的な利用 魚介類種苗生産効率化推進事業：1億50万円 漁業取締費：50万円 漁業公害調査指導事業費：58万8千円 榛南地先型増殖場造成対策費：1億500万円 藻場環境調査費：4,500万円 駿河湾深層水の利用推進 水産利用施設運営費：2,600万円 駿河湾深層水利活用促進事業費：2,070万円 漁業の経営基盤の強化 漁協組織緊急再編対策費：110万円 遠洋漁業者経営強化対策事業費：4,600万円 効率的な水産基盤整備と共存・対流による地域の活性化 全国漁港漁場大会開催費助成：350万円 漁業集落環境整備事業費：1億7,480万円 食の安全・安心の推進 ふじのくに養殖魚安全・安心推進事業費：428万円 水産物漁獲流通情報開示促進事業費：200万円 水産物産地流通加工施設高度化対策事業費助成：3億6,560万6千円 水産物の販路拡大 水産加工品輸出促進事業費：100万円 水産加工地域再生強化推進事業費助成：150万円

3. 平成15年度漁期 トラフグ水揚げ統計まとまる - 県ふぐ漁組合連合会 -

県ふぐ漁組合連合会(星川壽美雄会長)では、このほど終漁となった平成15年度県下トラフグ漁の水揚げ統計を発表しました。

平成14年漁期に111トと最高の水揚げを記録して迎えた今漁期は、水揚げ量では55トと昨年

の49.7%にとどまりましたが、漁獲物は大型の2歳魚が多く、平均単価は7,239円と昨年を3千円以上も上回りました。

その結果、総水揚げ金額は昨年に続いて4億円を上回る高い水準となり、「地産・地消」の重要魚種として「遠州灘の天然ふぐ」の資源増大策にさらに期待が集まっています。

4. 浜名湖花博へは漁船で行こう

浜名湖花博水上交通協議会(会長:浜名漁協星川壽美雄組合長)では、4月8日から10月11日まで開催される「浜名湖花博」で、各発着地と会場特設棧橋を結ぶ水上交通「花博レイクラインズ」を開設します。

陸路の渋滞対策とともに、花博の観光客に浜名湖の湖上遊覧を楽しんでもらおうと、同協議会で企画し、浜名漁協の組合員121人、95隻の漁船(一隻の定員は5~12人)で来場者を会場まで送迎します。料金・問合せ先は次のとおりです。

料金 浜名湖今切パーク海湖館(新居町) = 大人800円、子供500円 弁天島海浜公園(舞阪町) = 大人600円、子供300円 雄踏駐車場宇布見公共マリーナ(雄踏町) = 大人600円、子供400円 庄内駐車場(浜松市庄和町) = 大人600円、子供400円 いずれの料金も片道の金額 子供料金は4歳以上小学生まで 運航時間：各コースとも毎日午前9時から午後6時 問合せ先：浜名湖今切パーク海湖館 TEL：053-592-6624

5. 県漁協青壮年部連合会 シラス部会を開催 - 県漁青連 -

県漁協青壮年部連合会では、去る3月1日福田町において、青壮年部活動を盛り上げる一つの試みとして、本県の中核的漁業であるシラス船曳網漁業に従事する若手漁業者に呼びかけ、シラス部会を開催しました。

当日は、駿河湾・遠州灘沿岸域でシラス漁に従事する漁協青壮年部員等(静岡~浜名漁協)約40名の参加があり、始めに本会河尻指導部長の挨拶の後、引続き地元福田町漁協内野組合長より挨拶が行われました。次に県水産試験場漁業開発部鈴木技師より、平成15年の県内シラス漁況について報告があり、また、平成16年の漁況については、現時点では詳細なことはいえないものの、概ね例年並の漁獲量が期待されると説明がありました。

引続き、フリートーキング形式で当該漁業に関する問題点などについて、意見交換が行われ、県しらす船曳網組合斉藤組合長から若手シラス漁業者の交流をさらに深めていくことが重要であるとの激励がありました。

6. JF全国漁青連が通常総会を開催

JF全国漁青連は、去る3月4日虎ノ門パストラルにおいて水産庁中前明増殖推進部長、全漁連菅原昭副会長が出席するなか通常総会を開催し、2003年度事業報告及び2004年度事業計画について原案どおり承認するとともに、任期満了に伴う役員改選を行い水谷隆行会長が退任し、新会長には平野重美氏(長崎県漁協青壮年部連合会)、副会長には池添恭弘(再任・徳島)西山徹(新任・北海道)を選任しました。

なお、本県の県漁青連平山敏郎会長(南伊豆町漁協青壮年部長)が新たに理事に就任することを決定し今後の活躍が期待されています。

7. 諸会議日程(3月16日(火)~3月29日(月)) - 既報分省略 -

3月25日 県遊漁船業協会 = 島しょ・伊豆海面利用関係者協議会 (下田市漁協)